

科目名	見学実習【理学】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	溝 田 勝 彦・理学療法専攻教員全員						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	必修（理学）
授業の概要 及びねらい	臨床における理学療法および理学療法士の役割について、実際の臨床施設で初めて学ぶ機会であり、早期体験学習の意義を持っている。臨床実習指導者や関係スタッフとの関わりを通して、理学療法の業務について初歩的な理解を得るとともに、対象者を通して障害および障害者についての理解を深め、リハビリテーションおよび理学療法が臨床において果たす役割について認識することが大きな目的である。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会人・専門職としての基本的態度が理解できる。</li> <li>2. 医療人として責任及び節度のある態度と行動が理解できる。</li> <li>3. 理学療法士が勤務する施設の機能・概要を把握する。</li> <li>4. 理学療法部門及びその関連部門の見学により、臨床場面において理学療法が果たすべき役割を学ぶ。</li> <li>5. 検査・測定・治療の実際を見学する。</li> <li>6. 理学療法士の具体的イメージを形づくり、以降の学習に意欲が持てる。</li> <li>7. 臨床実習に必要な積極的な学習態度を身につける。</li> </ol>						
学習方法	臨床実習指導者の指導による見学実習						
テキスト及 び参考書等	特に指定しない。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他	実習指導者の評価、実習報告書、セミナーでの発表・討論を総合して評価する。						100
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
<b>授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）</b>							
第 1 週	実習施設において実習指導者の指導のもと、観察と見学を主体とした実習を行う。						
第 2 週	実習日時、実習施設、実習内容については改めてオリエンテーションを行う（実習期間は1週間）。						
第 3 週							
第 4 週	臨床実習後に学内において実習セミナーを開催し報告と討議を行う。						
第 5 週							
第 6 週							
第 7 週							
第 8 週							
第 9 週							
第 10 週							
第 11 週							
第 12 週							
第 13 週							
第 14 週							
第 15 週							
第 16 週							
備考							